

CSRマネジメント

CSRの推進

CSRの推進についての考え方

日本新薬グループは、自らが考えるCSRを果たすためには、事業活動を取り巻くさまざまなステークホルダーの期待に応えることが肝要であると考えています。

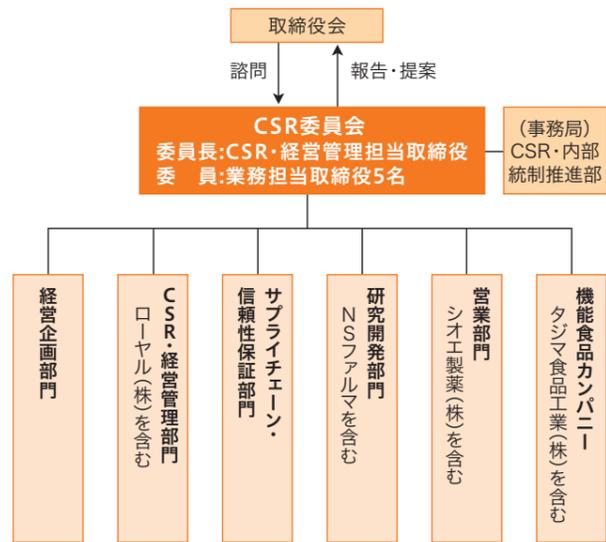
この考え方を具体的に示すために、当社グループは、ステークホルダーとして重要な「患者さん」「取引先」「ユーザー」「株主・投資家」「従業員」に加え、ステークホルダー全般に関わり得る「社会」「環境」との関わり方について、個別に行動方針を定めました。

CSRの推進体制

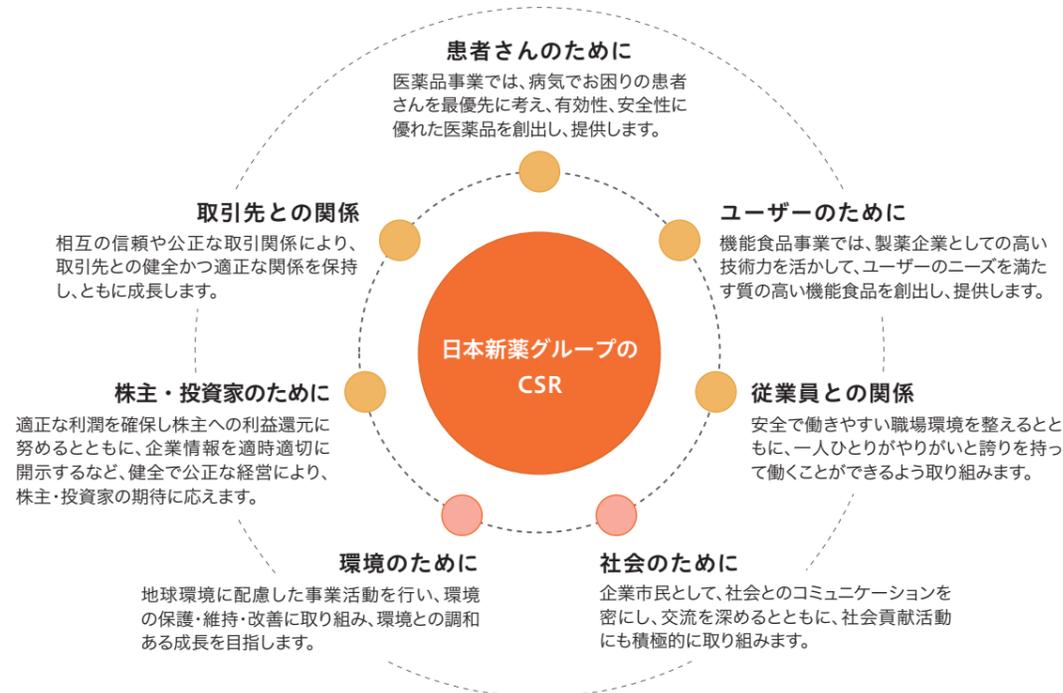
日本新薬グループは、CSR基本方針をもとにグループ全体のCSR活動の充実を図るため、企業活動が社会の常識や期待に沿うものであるかどうかを確認し、各々の活動の方向性を定めることを目的として、CSR委員会を設置しています。

この委員会では、CSR活動の方向性や、各業務部門から上げられるCSR活動に関する重要事項について部門横断的に協議し、必要に応じて取締役会に報告・提案しています。

日本新薬グループのCSR推進体制図(2013年4月現在)



日本新薬グループのCSRの推進における考え方のイメージ



ステークホルダーとの対話

ステークホルダーとの対話方針

日本新薬は、CSRを推進し、「患者さん」「取引先」「ユーザー」「株主・投資家」「従業員」といったステークホルダーの皆さまの声に耳を傾け、対話することが重要だと考えています。そうした対話を通じて得られた要望や意見を企業活動に反映し、ステークホルダーへの責任を果たしながら信頼関係を築いていきたいと考えています。

そして日本新薬グループ全体として、ステークホルダーの皆さまからの期待に応えていくことこそが、企業としての成長に繋がりを、ひいてはそれが社会の持続的な発展に貢献することになると信じています。

日本新薬グループ行動規範

行動規範の策定

日本新薬は、経営理念である「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」ことを信条とし、医薬品、機能食品事業の持続的な発展に取り組み、「ヘルスケア分野で存在意義のある会社」を目指しています。

そのためには、当社グループの全ての役員、従業員が、経営方針として掲げている「高品質で特長のある製品を提供する」「社会からの信頼を得る」「一人ひとりが成長する」ことを実践する企業活動が何より大切だと考えています。

また、当社グループを取り巻く多くのステークホルダーの皆さまに期待され信頼されるためには、法令や社内規則を遵守することはもちろん、高い倫理観に基づいた公正で誠実な企業活動を行っていかねばなりません。

そこで、当社グループでは、企業活動においてとるべき行動の実践基準を行動規範として定めています。

日本新薬グループの行動規範(2011年7月改訂)

I	私たちは、経営理念・経営方針に基づき、社会的責任を絶えず意識し、高い倫理観をもって行動します。また、法令および社内規則を遵守し、社会との信頼関係を構築します。
II	私たちは、生命に関連した製品を扱う企業の社員として、資質向上ならびに仕事の質の向上を図り、創造的に挑戦します。
III	私たちは、個人の人権・人格を尊重し、安全で快適な職場環境を維持します。
IV	私たちは、地球環境に配慮した事業活動を推進し、その維持改善に取り組みます。
V	私たちは、ステークホルダー（利害関係者）とのコミュニケーションを図り、企業情報を適時・適切に開示するなど、信頼関係を構築します。
VI	私たちは、政治、行政、取引先などとは、健全かつ適正な関係を保持し、公正・透明で自由な競争を実践します。
VII	私たちは、情報資産を含む会社資産の価値を十分認識し、適正に取り扱います。
VIII	私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力や団体からの不当・不法な要求には応じません。
IX	私たちは、社会の一員として、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
X	私たちは、国際的な事業活動においては国際ルールや現地の法令を遵守することはもちろんのこと、現地の文化や習慣を尊重します。

これからも存在意義のある会社を目指します。

日本新薬のCSRとは、経営理念「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」を信条とし、社会に必要な会社として、社会とともに持続的に発展することと考えています。

その表れとして、アルコール依存症に対する断酒補助剤「レグテクト®」の販売を通じて社会的な要請に応えるとともに、病院や介護施設におられる人々に対して、心のこもったホスピタルアートを提供する「日本新薬×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト」をスタートさせました。

今後も引き続き「医薬品事業や機能食品事業の持続的な発展」「社会貢献活動への取り組み」「地球環境問題への取り組み」など、役員・従業員の一人ひとりが社会の一員としての自覚を持ち、幅広い側面から社会の課題に誠実に取り組み、企業としての社会的責任を果たしていきたいと考えています。



取締役 CSR・経営管理担当
由良 能郎